

# 成田市消防本部消防活動用空地設置基準

平成 28 年 3 月 31 日

成 消 警 第 1746 号

## 1 目的

この要綱は、消防活動用空地を設置する際に必要な事項を定める。

## 2 消防活動用空地の位置構造等

### (1) 消防活動用空地の大きさ等

幅 7m 以上、長さ 14m 以上の長方形とする。また、事業区域外の道路を消防活動用空地とみなす場合は、当該道路が車道幅員 9.5m 以上を有するものでなければならない。

### (2) 消防活動用空地の設置位置

梯子付消防自動車（以下「梯子車」という。）が容易に進入し、非常用進入口等に架梯できる場所とし、非常用進入口等への架梯に障害となるものがあってはならない。

### (3) 離隔距離

別図 1 に示すとおり、センターテーブル中心から地上高ごとに指定された半径で描かれた弧と非常用進入口等の水平投影位置が接するように消防活動用空地を設けること。

### (4) 消防活動用空地の設置数

非常用進入口等からの歩行距離で概ね 40m 以内となるよう必要な数の消防活動用空地を確保する。

### (5) 消防活動用空地の表示

別図 2 に示すとおり、黄色等の識別しやすい色を用いて専用表示をし、その付近に標識（概ね 90cm×60cm）を設置する。ただし、事業区域外の道路等を消防活動用空地とする場合はこの限りでない。

### (6) 消防活動用空地の耐圧及び勾配

25t 耐圧構造、勾配 5%以下とする。

## 3 消防活動用空地に至る進入路

### (1) 事業区域内の進入路

25t 耐圧構造、勾配 9%以下とし、路面から高さ 4m 以下の部分に障害となる物件があってはならない。

### (2) 事業区域外の進入路

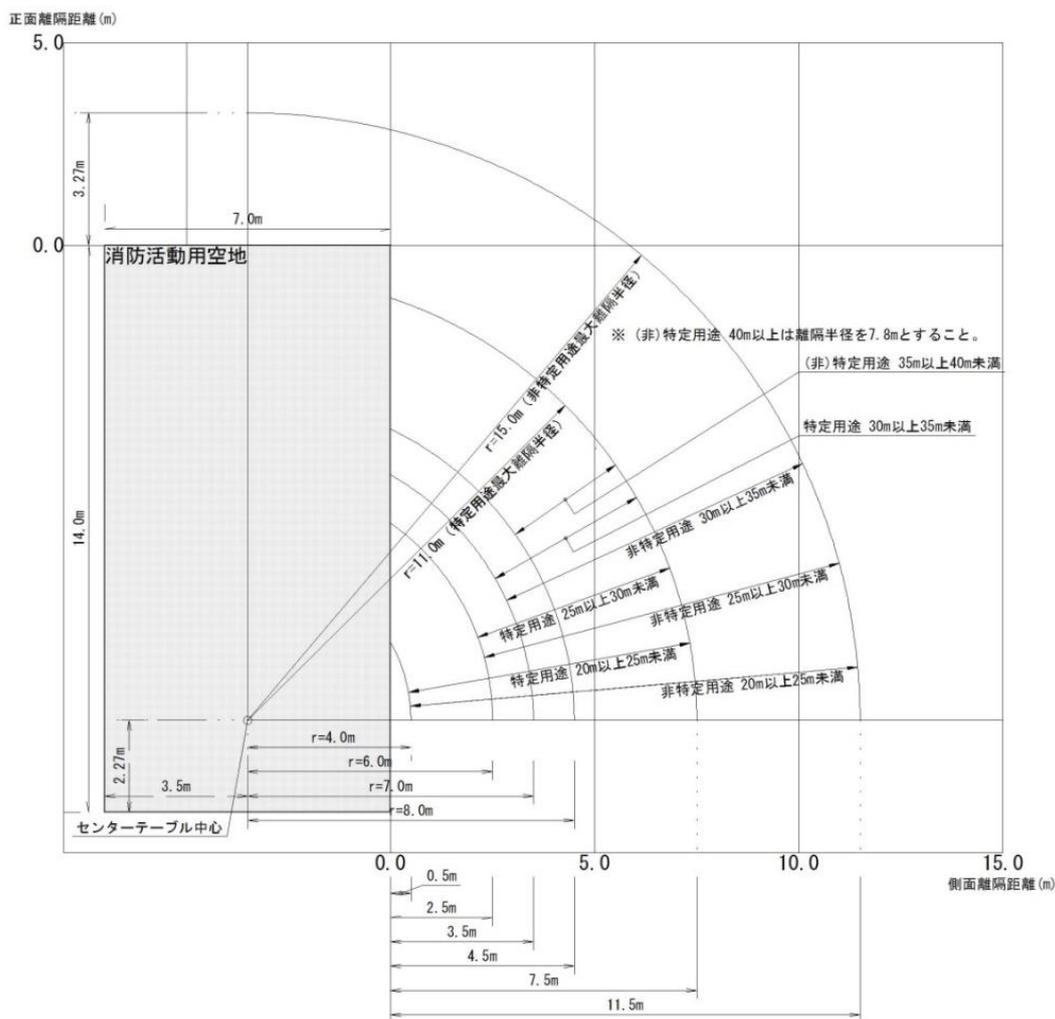
梯子車が容易に進入できる道路幅員を有し、進入に障害となる物件があってはならない。

### (3) 消防活動用空地に至る進入路の隅切りは、別図 3 とおりとする。

## 附 則

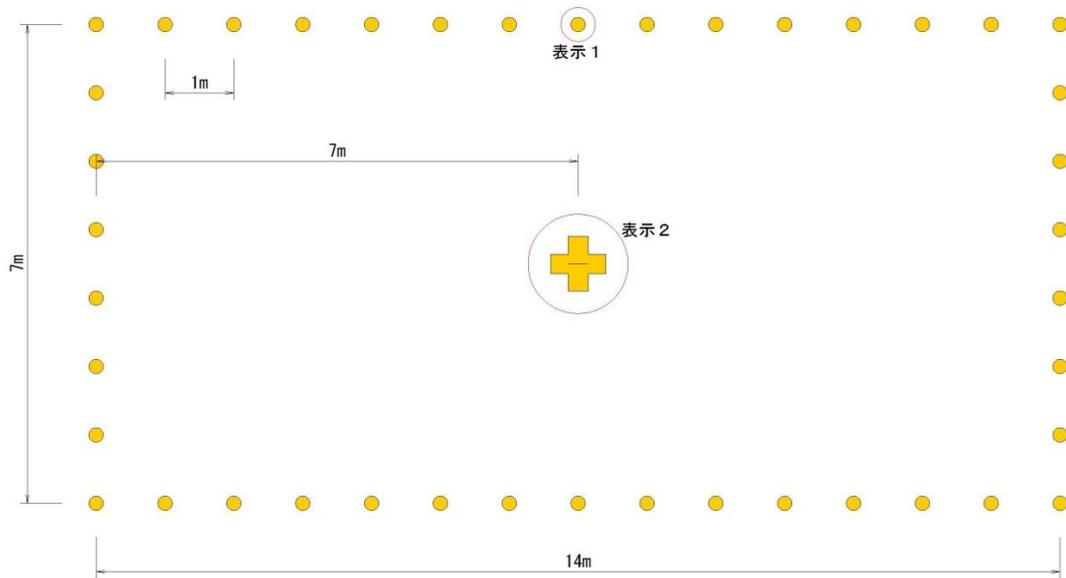
この要領は平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

別図1 消防活動用空地離隔距離

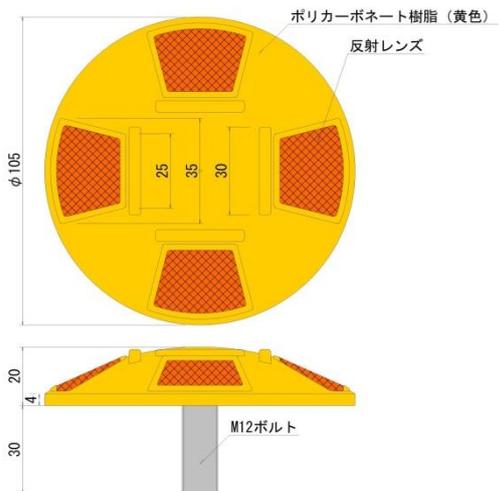


用途・高さ		位置	最小離隔半径	最大離隔半径
			$r_{min}$	$r_{max}$
特定用途	20m 未満		—	11.0m
	20m 以上 25m 未満		4.0m	
	25m 以上 30m 未満		6.0m	
	30m 以上 35m 未満		7.0m	
	35m 以上 40m 未満		8.0m	
	40m 以上		7.8m	
非特定用途	20m 未満		—	15.0m
	20m 以上 25m 未満		4.0m	
	25m 以上 30m 未満		6.0m	
	30m 以上 35m 未満		7.0m	
	35m 以上 40m 未満		8.0m	
	40m 以上		7.8m	

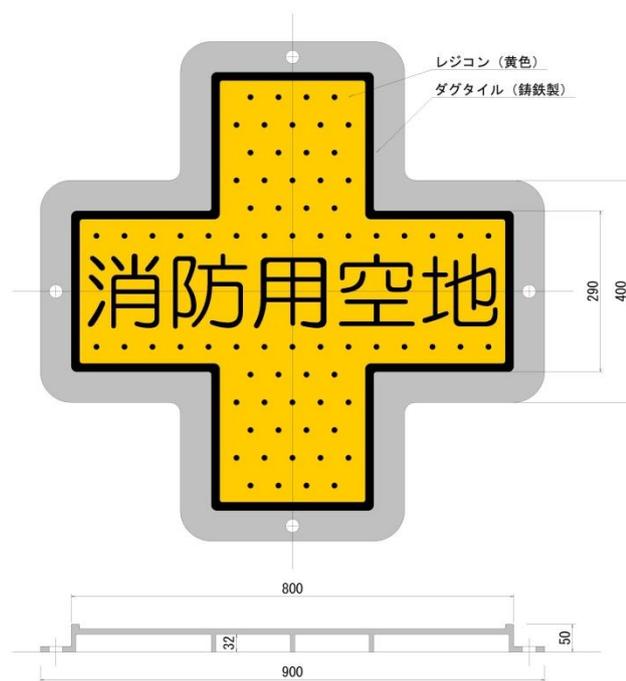
消防活動用空地表示 (その1)



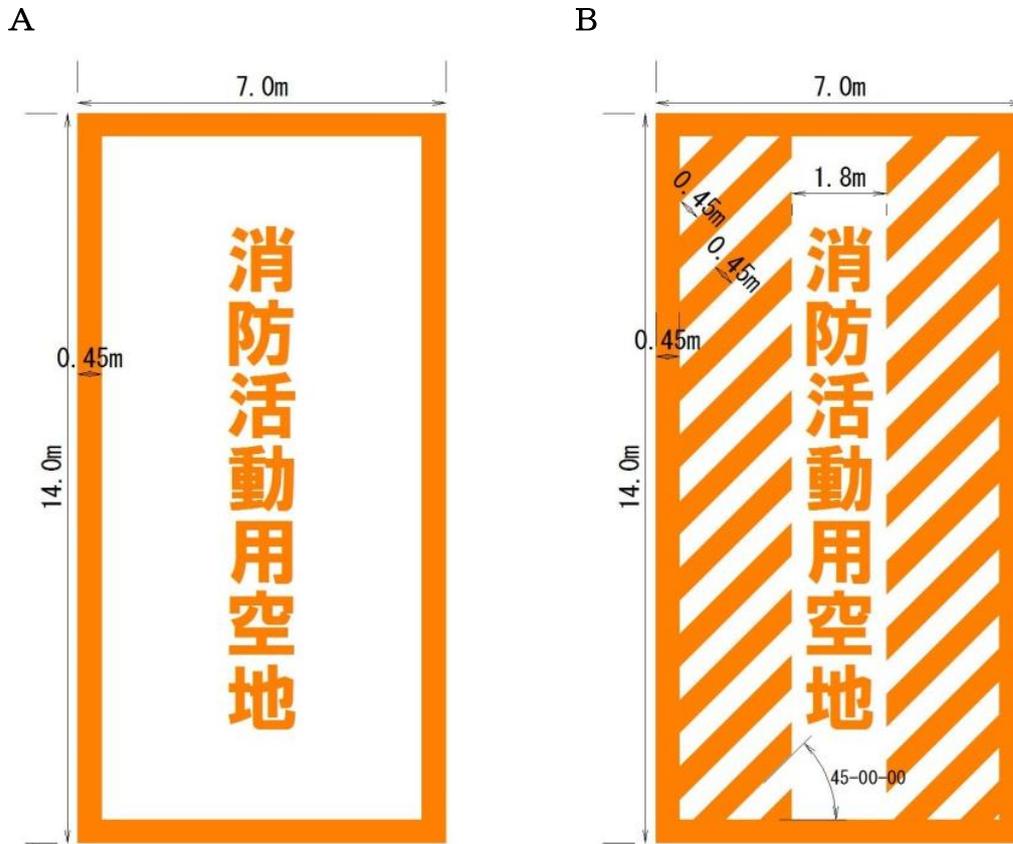
表示1



表示2



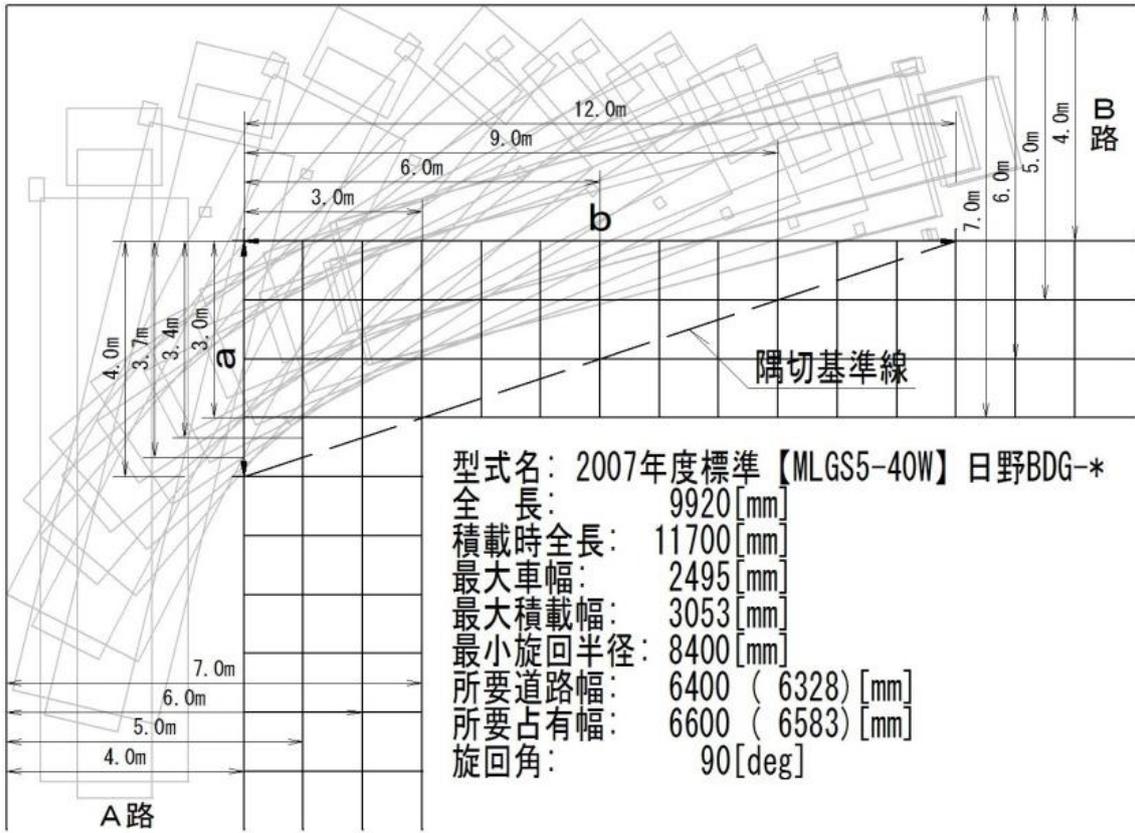
消防活動用空地表示（その2）



消防活動用空地標識



別図3 進入路隅切参考図



( a × b [m] )

A路幅 \ B路幅	B路幅			
	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m
4.0m	4.0 × 12.0	3.0 × 9.0	2.0 × 6.0	1.0 × 3.0
5.0m	3.7 × 11.0	2.7 × 8.0	1.7 × 5.0	0.7 × 2.0
6.0m	3.4 × 10.0	2.4 × 7.0	1.4 × 4.0	0.4 × 1.0
7.0m	3.0 × 9.0	2.0 × 6.0	1.0 × 3.0	隅切不要